

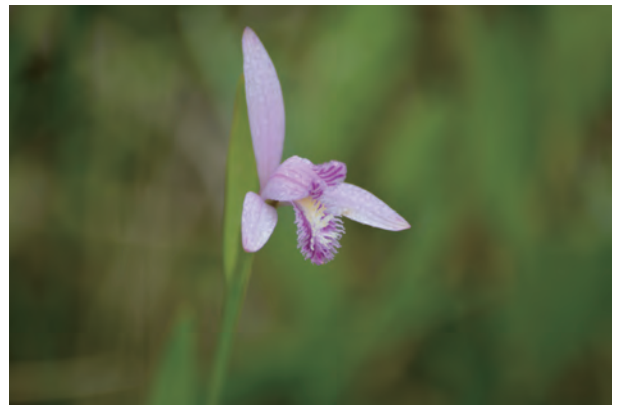
2015年7月号

7月15日(水)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

# 月刊 温根内通信 No. 226



## 初夏の釧路湿原

木道の縁に佇むエゾユキウサギに出会いました。しばらく見ていると湿原の中に飛び込み、バシャバシャと当たり前のように走り去りました。面積の大きな後ろ足はふかふかの雪の上を沈まずに歩けるだけでなく、夏の湿原でも役に立つようです。ウサギは山や草むらで暮らす動物というイメージが強いですが、夏の暑い日には湿原で水遊びをしているのかもしれない。

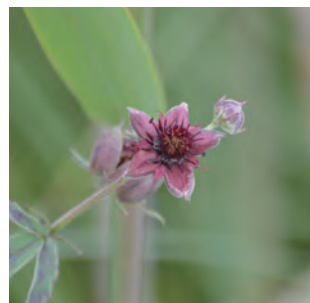
☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の植物～



【ホザキシモツケ】  
バラ科 穂咲下野  
ハンノキ林内や湿原の丘陵地に近いところで見られる木本です。小さな花が穂状に集まって咲き、たくさんのおしべが見られます。



【クロバナロウゲ】  
バラ科 黒花狼花(牙)  
ヨシ・スゲ湿原で見られます。個性的な赤紫色の花は鬱蒼と茂ったヨシやスゲの中でも独特な存在感を示しています。



【エゾノカワチシャ】  
ゴマノハグサ科 蝦夷川菖菰  
鶴居軌道跡の湧水周辺で見られます。葉が食べられることから、和名は川辺に生える菖菰(チシャ:レタスの和名)からきています。



【コタヌキモ】  
タヌキモ科 小狸藻  
ミズゴケ湿原とハンノキ林の境目付近で見られる食虫植物です。よく似たタヌキモとは葉の形が違うことで見分けられます。



【クロミノウグイスカグラ】  
スイカズラ科 黒実鶯神楽  
ハンノキ林内で見られます。甘酸っぱい実はハスカップの別名で知られていますが、ここでは実りがとても少ないので、見つけてもそっとしておきましょう。



【オオハナウド】  
セリ科 大花独活  
鶴居軌道沿いで見られます。セリ科草本は見分けにくいですが、大きな葉と外側の花弁が大きく裂けていることで他の種と見分けられます。

〇表紙の写真 上:カキツバタの群落 中右:トキソウ 中左:エゾユキウサギ 下:クロミノウグイスカグラ(実)

## ～温根内探勝木道周辺の野鳥～

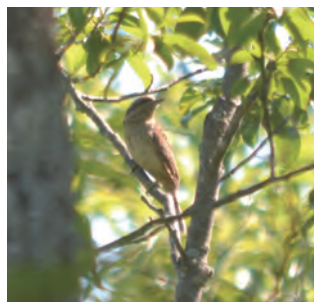
木道周辺では鳥たちが子育ての真っ最中です。既に巣立ちして親鳥を追いかけているヒナや、エサをくわえて巣立ち前のヒナにエサを運ぶ親鳥の姿が見られます。双眼鏡を無料で貸し出しています。お気軽にご利用ください。



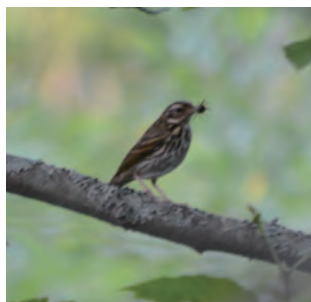
【ノビタキ(ヒナ)】 夏鳥  
ヒタキ科 野鷲  
ヨシ・スゲ湿原では巣立ちしたヒナが必死に親鳥を追いかけて餌をねだっています。秋の渡りに備えて、厳しい訓練の最中です。



【チュウヒ】 夏鳥  
タカ科 沢鷲  
湿原の上を低空飛行で餌を探しながら飛ぶ姿を見かけます。翼を浅いV字型にして飛ぶのが特徴で、国内RDBでもIBにランクされている貴重な鳥。



【アリスイ】 夏鳥  
キツツキ科 蟻吸  
この辺りでは唯一渡り鳥のキツツキで、ハンノキ林などで見られます。猛禽類のような「キーキー」という特徴的な声を出します。



【ビンスイ】 夏鳥  
セキレイ科 便追  
ミズゴケ湿原周辺ではピンズイが虫をくわえて飛ぶ姿が見られます。巣立ち目前のヒナにせせと餌を運んでいるようです。

○温根内探勝木道周辺で観察された花(6月15日～7月14日) ※和名は五十音順

■アカネムグラ■イ■イケマ■イソツツジ(木本)■イチゲフウロ■ウド■エゾイチゴ(木本)■エゾイヌゴマ■エゾイラクサ■エゾオオヤマハコベ■エゾカラマツ■エゾタツナミソウ■エゾノカワチシャ■エゾノクサイチゴ■エゾノシモツケソウ■エゾノタチツボスミレ■エゾノヨロイグサ■オオアマドコロ■オオウバユリ■オオカサモチ■オオダイコンソウ■オオツリバナ■オオハナウド■オトギリソウ■オオヤマフスマ■カキツバタ■カタバミ■カラコギカエデ(木本)■カラフトイバラ(木本)■カラフトノダイオウ■カラフトホソバハコベ■キクムグラ■キツネノボタン■ギョウジャニンニク■クサフジ■クロバナロウゲ■ゴキツル■コクワ(木本)■コケイラン■コタヌキモ■コツマトリソウ■コハコベ■コンロンソウ■サギスゲ(綿毛)■シオガマギク■シコタンキンボウゲ■シロツメクサ■セイヨウタンポポ■タヌキモ■チシマアザミ■ツリバナ(木本)■ツルウメモドキ(木本)■ツルコケモモ(木本)■トキソウ■ドクゼリ■ナガバツメクサ■ナズナ■ネムロブシダマ(木本)■ノハラムラサキ■バイケイソウ■ハシドイ(木本)■ハナタネツケバナ■ヒメカイウ■ヒメジョオン■ヒメスイバ■ヘラバヒメジョオン■ホザキシモツケ(木本)■ホソバアカバナ■ホソバノヨツバムグラ■ホロムイソウ■マムシグサ■マユミ■ミツガシワ■ミツバツチグリ■ミミナグサ■ミヤママタタビ(木本)■ムラサキツメクサ■ヤナギトラノオ■ヤマグワ(木本)■ヤマブキシヨウマ■ヤマブドウ(木本)■ワタスゲ(綿毛)

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥(6月15日～7月14日) ※和名は日本鳥類目録第7版の順

■マガモ■キジバト■アオバト■アオサギ■タンチョウ■クイナ■ツツドリ■カッコウ■トビ■チュウヒ■ノスリ■アリスイ■コゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■チゴハヤブサ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ショウドウツバメ■ヒヨドリ■ウグイス■エナガ■エゾムシクイ■センダイムシクイ■マキノセンニユウ■シマセンニユウ■コヨシキリ■ゴジュウカラ■キバシリ■ムクドリ■アカハラ■ノゴマ■コルリ■ノビタキ■コサメビタキ■キビタキ■オオルリ■ニュウナイスズメ■ピンズイ■カワラヒワ■ベニマシコ■アオジ■オオジュリン



今年もヘイケボタルが飛び始めました♪8月上旬まで見られます。

観察する際には木道から落ちないように十分お気を付けください。フラッシュ撮影や懐中電灯はホタルを驚かせるだけでなく、周りの人の目がくらみますのでご遠慮ください。暗さに目が慣れてくれば十分歩けますし、ホタルも見つけやすくなります。また、ホタルも虫ですので、虫よけはほどほどにお願いします。

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺に咲いている花を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆自然ふれあい行事「初夏の湿原ハイク」が開催されました☆☆☆



7月5日(日)、釧路湿原は花の季節真っ盛り。くもりの天気予報も外れ、すがすがしい初夏の陽気の中、植物の専門家の大西英一氏を講師に温根内木道で観察会を行いました。

ハンノキがどうして湿原内で生きられるのかということや、ヨシの効率の良い光合成や浄化作用、カキツバタの受粉するための戦略、ラン科のトキソウの生態の話など、内容は多岐に渡りましたが、様々な生き物が他の生きものと関わり合いながらうまく湿原生態系を形作っているということを楽しく分かりやすく解説していただき、参加者も興味深く聞き入りました。(参加者：16名)

☆☆☆☆☆温根内イベントカレンダー(8月)☆☆☆☆☆

8月2日、16日の観察会は申し込みが必要です⇒☎0154-65-2323

※無料ガイドウォーク(無料GW)は申し込み不要です。直接お越しください。

日	月	火	水	木	金	土
						1 無料GW
2 夏の湿原花ハイク	3	4 臨時開館	5	6	7	8 無料GW
9 無料GW	10	11 臨時開館	12	13	14	15 無料GW
16 ザリガニウォッチング	17	18 臨時開館	19	20	21	22 無料GW
23 無料GW	24	25 休館日	26	27	28	29 無料GW
30 無料GW	31					

♪夏の湿原花ハイク：10：00～12：00(定員15名) ♪ザリガニウォッチング：10：00～12：00(定員15名)

♪無料GW：10時～、14時～(1日2回開催、定員10名、申込不要、定員になり次第締め切り)

○塘路湖エコミュージアムセンター(あること)⇒お申し込み☎015-487-3003

♪鳥の刺繍ワッペンを作ろう

〔日時〕8月29日(土)10：00～13：00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕500円(材料費)

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

☆夏季休館日の開館について☆

今年も夏休み中(7月21日～8月18日)の休館日を臨時開館いたします。当日は環境省のアクティブランジャーとパークボランティアの方々が対応しております。

長年湿原に関わってきた人たちのお話も聞けますので、お気軽にお立ち寄りください。

月刊 温根内通信 No.226

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-0036 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@hokkai.or.jp

ホームページ：http://city.hokkai.or.jp/~kkr946/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：10：00～17：00(11月～3月は16：00まで)

休館日：毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料